

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年1月10日

【評価実施概要】

事業所番号	170503627
法人名	株式会社 ケーサポート
事業所名	グループホーム コケモモの家
所在地	札幌市豊平区西岡4条3丁目8番5号 (電話) 011-851-5900
評価機関名	株式会社 日本プランニングセンター
所在地	札幌市中央区北6条西24丁目1-30
訪問調査日	平成20年11月22日

【情報提供票より】(20年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 11月 18日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17 人 常勤16人, 非常勤1人, 常勤換算6.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	2階建ての 全 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,000 円	その他の経費(月額)	22,000~36,000 円	
敷 金	有(37,000円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200 円	

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	2 名	要介護2	6 名		
要介護3	6 名	要介護4	4 名		
要介護5	名	要支援2			
年齢	平均 80.7 歳	最低	62 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	美園いとう内科、武田外科整形外科医院、平川歯科医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は、入居者を敬う姿勢を持ち支援に当たっており、入居者からは信頼されている様子が伺えた。
ケアプランを重視しており、入居者、家族の意見・要望を聞き入れながら、自立支援につながるケアを実践している。
職員育成はケアサービス向上にとって重要項目と位置づけしており、フォローアップ研修、個別目標設定による個別指導を管理者、フロアリーダーが中心となって進めていることは評価できる。
地域に開かれたホームづくりにも力を入れており、町内行事である月1回の西岡音頭、夏祭り、盆踊りへの参加を積極的に行ったり、日常的な近所付き合いなどで地域との交流も行われていることで地域から受け入れられているホームとなっている。
医療面については、月1回訪問診療が実施されるなど医療面の体制も整備されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 安全対策として年2回の避難訓練の他、チャート式緊急マニュアルの作成、緊急避難経路の掲示など防災意識を高める取り組みを行っている。 業務の負担軽減のため、重要性の低い記録の記入をやめ、必要な記録のみ記入するなど記録の取り方を工夫するようになった。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員全員により自己評価を行っており、評価を通じてサービスの実態について振り返り、改善課題の抽出の機会として活用している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議を開かれた会議にするためにできるだけ多くのメンバー(特に家族)が参加しやすいように、ホームの行事に合わせるなどの工夫を行っている。 メンバーからは、運営面でのさまざまなアドバイスをもらえるようになり、ホームの運営に活かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族とのコミュニケーションを重要視しており、ホームだよりで入居者の様子を伝えたり、来訪時には家族に積極的に話しかけるなど家族からの意見、要望を聞き入れやすい雰囲気づくりにも努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日常的な外出の機会を多く作っており、買い物、散歩時における近所の方々との交流、町内会行事への参加などで、ホームが地域に溶け込めるようになってきていることは評価したい。 ごみステーションの清掃、ごみ減量にも力を入れており、この取り組みは、地域からも評価を受けている。

2. 調査報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者がその人らしく自立した生活ができるためにケアサービスを提供するという理念を掲げている。 その理念は玄関に和風の趣のある飾りと共に、目立つように掲げられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	上記理念を日常ケアサービスの提供に活かすため、管理者を中心に、職員は具体的に何をすべきかについて話し合いを行い、ケアの方針を決めて実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会行事である夏祭り、盆踊りへの参加や、月1回開催される西岡音頭への参加など地域交流は積極的に行っている。 日常的にも散歩時や玄関先での近所の方との会話などの交流も普通に行われるようになっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価、自己評価をホームの運営状況を客観的に見つめ直す機会と捉え、気づいた点などについては、職員全体で改善策を立て、早期に実行していることは評価できる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議にメンバー（特に家族）が参加しやすくなるように、ホーム行事と合わせて行うなどの工夫をしている。</p> <p>会議においては、積極的な意見交換が行われ、ホームに対する様々なアドバイスをもらえるようになり、運営に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>豊平区連絡協議会、管理者会議などに参加し、区との連携を取っている。</p> <p>また、市から出前講座（ごみ減量推進課）を行ってもらうなど、行政の機能を活用している点は評価できる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族には金銭報告と合わせて、ホーム便りを送付し、日常の様子を伝えている。また、家族が来訪しやすいような雰囲気づくりを心がけており、来訪時には、家族とのコミュニケーションをうまく取っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付については、玄関や重要事項に明示されている。入居時には、苦情対応窓口については、説明を行なっている。</p> <p>また、運営推進会議、プラン見直し時、あるいは来訪時などに家族の意見や要望については、会話の中からうまく聞き出している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新たに採用された職員に対しては、ホームの理念に基づき、職員がどのように入居者支援を行うかについて、一定期間、細かな指導を通じ、入居者とのコミュニケーションがスムーズに取れるように配慮している。</p> <p>職員は3ヶ月の見習期間経過後は正職員となり、退職金制度（サポートさっぽろ）へ加入するなど待遇面における、経営者の配慮が伺える。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全体での勉強会の他、個別指導に力を入れていることは評価できる。職員個々に目標設定させて、目標の達成感を味わえるような取り組みを行っている点においては工夫が見られる。また、必要に応じて外部研修にも参加させるなど、職員のスキルアップにも力を入れている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>関連グループホームとの合同研修、豊平区連絡協議会などを通じて他のホームとの情報交換、相互啓発を行っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居時には、本人や家族より過去の生活歴、本人の要望などを聞き入れ、出来るだけそれまでの生活が継続できるよう努めている。入居後は、他の入居者と馴染めるよう職員が会話に加わるなどの配慮も行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者それぞれ役割を持っており、その役割を果たしていく中で、職員に生活の知恵を教えることもあり、互いに協力し合いながら生活している。入居者、職員がお互いに協力し合って食事の支度をする様子からもそれが伺えた。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の視点に立ち、できるだけ入居者の希望を叶えたり、自立した生活が送れるために、職員が何をすべきかについて常に考え、ケアに取り組んでいる。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者本人、家族の意向を汲み入れ、理念に沿って、その人らしくホームで生活が送れるために、職員の意見も反映して介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の支援経過については、日報に詳細に記載しており、介護計画を実践に活かそうという意識を持ち、必要な記録を取り、実践している点は、高く評価したい。介護計画の見直し時には、これらの記録に基づき、本人、家族、職員間で情報共有して介護計画の見直しを行っている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族、町内会などと協力しながらホームの行事や外出支援を行っている。関連グループホームとは情報交換や合同で勉強会を開催するなどその多機能性を活かしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医の他、月1回、訪問診療を受けるなど、医療体制は整備されている。 緊急時の対応も取れる体制が出来ている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期対応のためには、家族との信頼関係構築が重要であると考えており、日頃から家族とのコミュニケーションづくりには、十分配慮している。 終末期対応が必要となった場合には、入居者本人、家族、医師と相談の上、最善の方法を選択する方針である。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者への声かけ、排泄誘導の場面などにおいてプライバシーを損なうような言動、行動はなく、入居者を尊厳している姿勢でケアを行っていることが確認できた。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者主体でホームが運営されており、入居者それぞれが「したいこと」を出来るだけ行えるよう職員は支援している。 職員から入居者へ無理させるような場面は見られなかった。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の時間は、準備から食べるまで入居者、職員が互いに協力し合い、楽しい時間を共有していることが確認できた。 食べている間は、職員は食べこぼしのサポートなど必要に応じて支援を行っていた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は入居者の希望に沿った形で支援が行われている。入浴を好まない入居者に対しては、出来るだけ入浴するよう会話を工夫しながら誘導しているが、無理な場合には衛生面に配慮し、清拭、足浴などの対応を取っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活習慣、趣味などについて本人や家族から会話などで聞き出し、「したいこと」や「できること」を介護計画に盛り込み、職員は支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所の散歩、買い物などの日常的な外出は一年中を通して行っており、開放されたホームである。庭には、花や野菜(じゃがいもやとうきび)を植えるなど外に出る機会を多く作っている。これらの外出の機会が近所の方々との交流の機会にもなっている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中の鍵はかけておらず、出入りは自由にできている。		一人で外出する入居者に対しては、すぐに職員が対応できるよう、職員間の連携を十分に取っていただくことを望む。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回、避難訓練を実施している。緊急時マニュアルは、チャート式の分かりやすいものを作成し、いつでも活用できるようになっている点においては工夫が見られる。緊急避難路については、見やすい場所に掲示されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量、水分摂取量は、個別記録を取っており、体調変化等に気づけるように活用している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内は開放的で明るく、入居者が生き生きと生活している様子が伺えた。におい、光や音の強さなどについても気になる点は見られなかった。ホーム内には至るところに、写真や手芸品などが飾られており、家庭的な雰囲気も感じられた。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れたものが持ち込まれ、それぞれが自由に部屋を飾っており、過ごしやすい自分の空間となっていた。</p>		

 は、重点項目。